大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪	06	(586)	3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺	0722	(36)	1131	〒590
北部支社	高槻市原の里町38-6	電話 高槻	0726	(71)	0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内	0729	(62)	1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸	078	(360)	3100	〒650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話 京都	075	(231)	8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良	0742	(44)	1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1-5	電話 和歌山	0734	(31)	2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4-8	電話 姫路	0792	(85)	2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡	0796	(23)	2221	〒668
湖南支社	草津市追分町字荒堀880-1	電話 草津	0775	(62)	5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町12-11	電話 彦根	0749	(22)	3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜	0749	(62)	7171	〒526
本社・ガスビル サービスセンター	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪	06	(202)	2221	〒541

形式の表示	
室内	室外
RHW-4122	RLW-4122

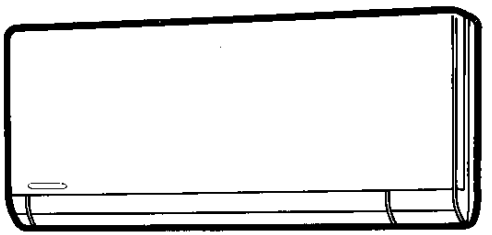
温水式

ガスルームエアコン

室内ユニット　　室外ユニット

48-622型(グレー)
48-623型(ホワイト)　43-064型

取扱説明書



大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスルームエアコンをお求めいただき、ありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

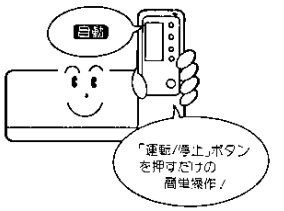
ページ

■特長……1
■必ずお守りください……3
■各部の名称とはたらき……4
■ご使用方法 ■現在時刻の合わせかたと確認……13
■自動運転……14
■暖房運転(手動)……16
■冷房運転(手動)……17
■アメニティドライ運転……18
■送風運転……20
■風向調節……21
■おやすみ運転……23
■肌もと運転……24
■瞬間温風運転(暖房時のみ)……25
■急速運転(暖房時のみ)……26
■温水マット運転(暖房時のみ)……26
■応急運転・試運転……27
■タイマーの使い方・使用例……28
■知っていただきたいこと……33
■上手な使いかた……34
■日常の点検、お手入れのしかた……35
■ご使用上の注意……39
■設置について……40
■修理を依頼される前に……41
■異常時の処置……46
■仕様と外形寸法図……47
■アフターサービスのお申し込み……49

■特　長

自動運転

リモコンの運転切換を 自動 にしておきます。
運転開始時にお部屋の温度を検知して、「マイコンドライ」「冷房」「暖房」のいずれかを選び、温度設定、風の強さもエアコンが自動的に決定して運転します。
（14・15ページ参照）

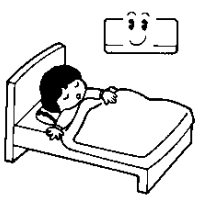


急速運転

寒い朝一番の暖房開始時等に、通常の能力より約15%能力をあげて運転し、お部屋をすぐ暖めます。
（25ページ参照）

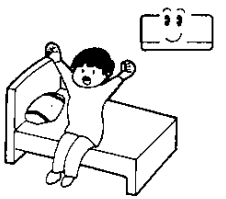
おやすみ運転

「おやすみ」ボタンを押しますと、自動的におやすみ運転になります。温度設定や吹出し温度を調節して、冷房による寝冷えや暖房による寝苦しさをやわらげます。
（23ページ参照）



おはようメモリータイマー機能

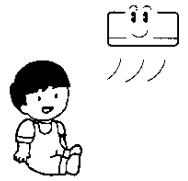
入タイマーをセットしますと、自動的に「おはようメモリータイマー機能」がはたらき、セットされた時間にお部屋の温度がご希望の温度に近づいているよう、セット時間の0～30分前から運転を開始します。
（30ページ参照）



■特　長

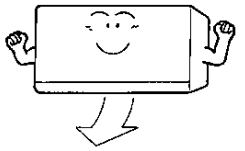
アメニティドライ運転

暖房、冷房の同時運転により室温を下げずに除湿を行ないます。また、湿度センサーの採用によりいつも快適な湿度を保つことができます。
（18・19ページ参照）



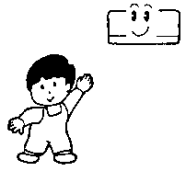
瞬間温風機能

暖房モードにて瞬間温風ボタンを押しますと、運転開始後すぐに温風が吹き出しお部屋を早く暖めることができます。
（25ページ参照）



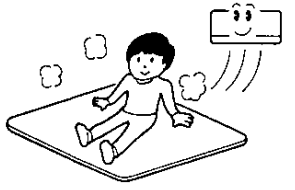
空気清浄機能

静電気を帯びた空気清浄フィルターの装着により、空気中のゴミやタバコの煙を捕え、きれいで健康的な空気をつくります。
（12ページ参照）



温水マット対応

温水マットを接続することにより、安全で手軽に快適な床暖房が実現します。
（26ページ参照）

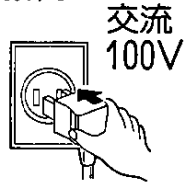


■必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

必ず定格電圧(100V)で

間違えますと、修理できない故障や火災の原因になります。



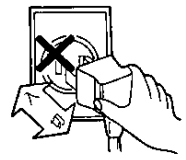
快適な室温に調節を

とくに乳幼児・お年寄り、病気の方などには、周囲の方が常に注意してあげてください。

吸込口、吹出口の障害にならないように

電源プラグの抜き差しによる「運転・停止」はしないで

差し込み部がゆるんだりコードが傷みますと、感電や過熱のもとになります。

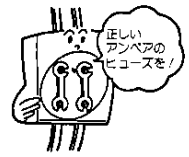


コードはていねいに扱って

室内ユニットから出ているコードを強く引っぱると、故障や漏電のおそれがあり危険です。

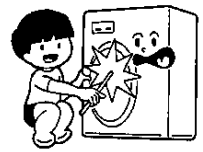
正しいアンペアのヒューズを

針金や銅線などは使わないでください。
故障したり、火災などの原因になります。



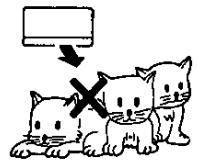
吸込口、吹出口に棒などを入れないで

ファンが高速で回転しており、大変危険です。



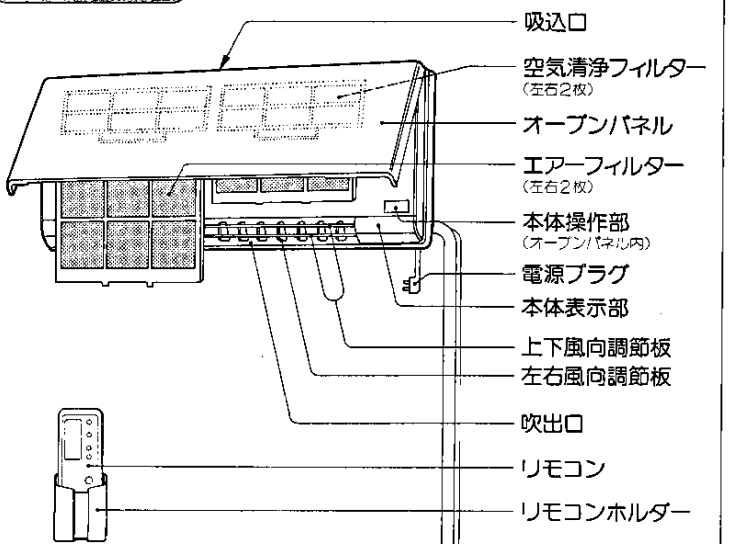
犬やねこなどの飼育に使わないで

洗濯物の乾燥、熱帯魚の飼育などに、使わないでください。
このエアコンは人に使う目的で作られたものです。

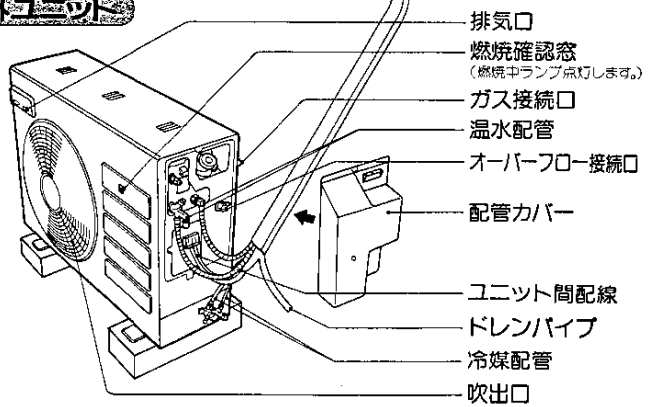


■各部の名称とはたらき

室内ユニット

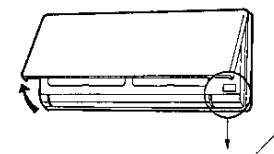


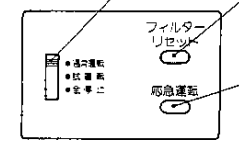
室外ユニット

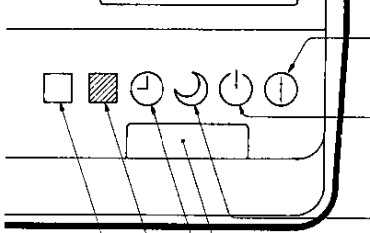


■各部の名称とはたらき

本体表示部・操作部







切換つまみ
「通常運転」位置で使います。
試運転モードは据え付け時の試運転に使います。
全停止モードは据え付け時の循環水の注水に使います。

フィルターリセットボタン
エアーフィルターを掃除した後は、このボタンを押してください。
フィルターランプが消えます。
(36・37ページ参照)

応急運転ボタン
リモコン紛失時などに使います。ふだんは使いません。(27ページ参照)

運転ランプ(緑色)
エアコン運転中に点灯します。

瞬間温風ランプ(緑色)
瞬間温風セット中に点灯します。(25ページ参照)

おやすみランプ(緑色)
おやすみ中、冷房時には冷え過ぎ、暖房時には暖め過ぎないように、自動的に室温を調節します。(23ページ参照)

受信部
リモコンからの信号を受けます。

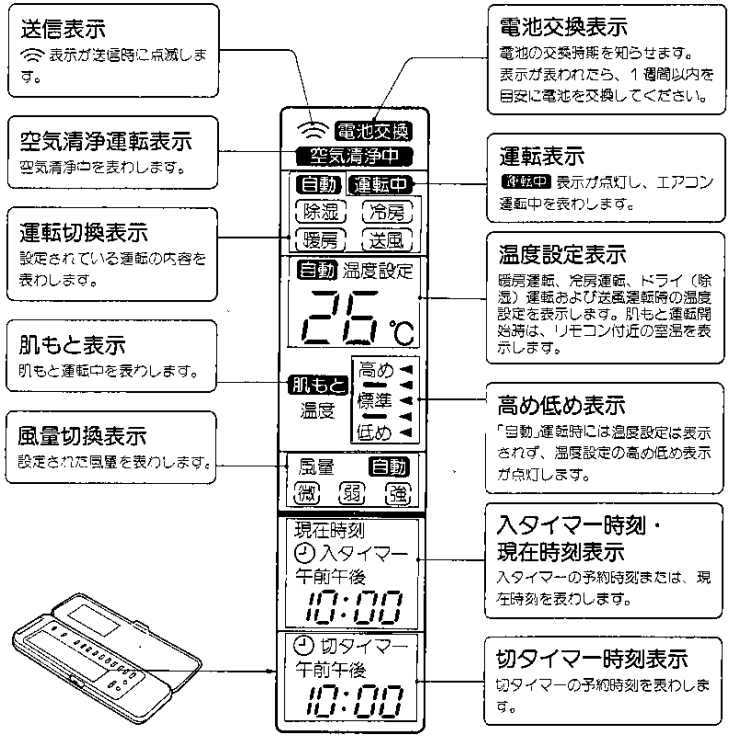
タイマーランプ(緑色)
タイマーをセットすると点灯します。

フィルターランプ(赤色)
点滅したらエアーフィルターを掃除する時期です。

温水マットランプ(緑色)
温水マット使用時に点灯します。(26ページ参照)

■各部の名称とはたらき

リモコン表示部



送信表示
表示が送信時に点滅します。

空気清浄運転表示
空気清浄中を表わします。

運転切換表示
設定されている運転の内容を表わします。

肌もと表示
肌もと運転中を表わします。

風量切換表示
設定された風量を表わします。

電池交換表示
電池の交換時期を知らせます。
表示が表われたら、1週間以内を目安に電池を交換してください。

運転表示
運転中 表示が点灯し、エアコン運転中を表わします。

温度設定表示
暖房運転、冷房運転、ドライ（除湿）運転および送風運転時の温度設定を表示します。肌もと運転開始時は、リモコン付近の室温を表示します。

高め低め表示
「自動」運転時には温度設定は表示されず、温度設定の高め低め表示が点灯します。

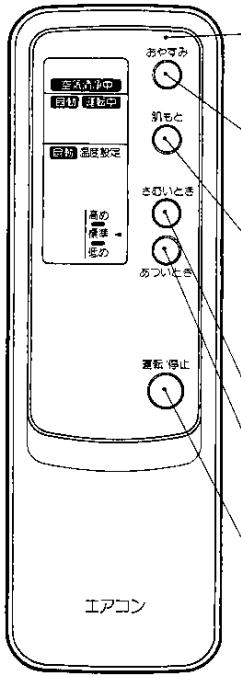
入タイマー時刻・現在時刻表示
入タイマーの予約時刻または、現在時刻を表わします。

切タイマー時刻表示
切タイマーの予約時刻を表わします。

（上の表示例は説明のためのもので実際とは異なります。）

■各部の名称とはたらき

リモコン操作部



リモコンとびら
とびら上のボタンを操作するときは、リモコンとびらを、きっちりと開めてください。

おやすみボタン
押すとおやすみ運転になります。もう一度押すと解除されます。（23ページ参照）

肌もと(体感コントロール)ボタン
押すと、肌もと運転になります。もう一度押すと解除されます。（24ページ参照）

温度設定ボタン
お部屋の温度を調節するときに使います。

- 1回押すごとに1℃ずつ設定温度が高くなります。
- 1回押すごとに1℃ずつ低くなります。

運転／停止ボタン
押すと運転を開始します。
もう一度押すと停止します。

（リモコンとびらを閉じたところ）

■各部の名称とはたらき

リモコン操作部

送信部
室内ユニット本体へ信号を送ります。

瞬間温風ボタン
押すと瞬間温風がセットされます。もう一度押すと解除されます。
（25ページ参照）

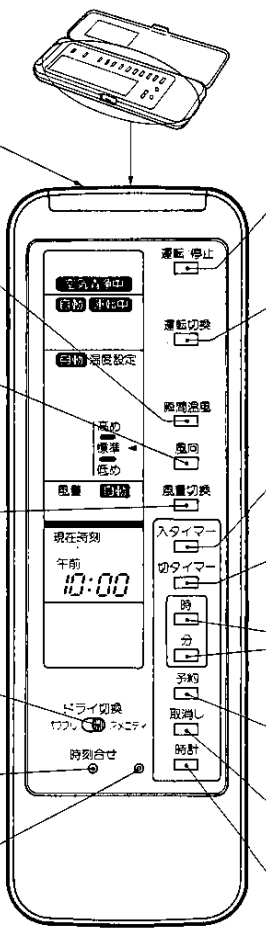
風向ボタン
押すと上下風向調節板が上下に動きます。もう一度押すと、止まります。
（21・22ページ参照）

風量切換ボタン
自動および冷房、暖房、送風運転時、風量を切換えるときに押します。押すごとに風量が切換わります。但し、送風時は微風、弱風、強風のみです。（33ページ参照）
自動 → 微風 → 弱風 → 強風

ドライ切換スイッチ
ドライ能力をアメニティ(弱)または、パワフル(強)に切換えます。（18・19ページ参照）

時刻合わせボタン
現在時刻を合わせるときに押してください。
（13ページ参照）

とびら開閉切換
とびら内のボタンを操作するときは、触れないでください。



リモコンとびらを開いたところ

■各部の名称とはたらき

運転／停止ボタン
押すと運転を開始します。
もう一度押すと停止します。

運転切換ボタン
運転の種類を切換えるとき押します。
押すごとに運転内容が切換わります。
自動 →除湿→冷房→暖房→送風

入タイマーボタン
お望みの時間にお好みの室温に近づいているよう運転したいときに使います。
（28ページ参照）

切タイマーボタン
お望みの時間に運転を停止したいときに使います。（29ページ参照）

時・分ボタン
現在時刻やタイマー時刻を合わせるときに使います。（13ページおよび28～32ページ参照）

予約ボタン
タイマー運転を予約セットするときに使います。（28～32ページ参照）

取消しボタン
タイマー運転の予約セットを取消すときに使います。（30ページ参照）

時計ボタン
現在時刻を表示させるときに使います。

■各部の名称とはたらき

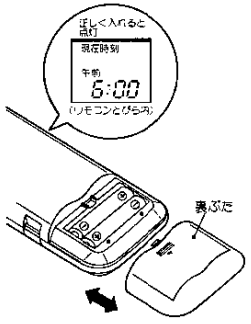
リモコンの取り扱い

電池の入れ方

電池は、単4形アルカリ乾電池を2本使用してください。

1 リモコンの裏ぶたを押しながら矢印(▼)の方向へはずし、電池2本を内部の⊕⊖表示に合わせて、正しく入れてください。

2 裏ぶたを元どおり取り付けてください。

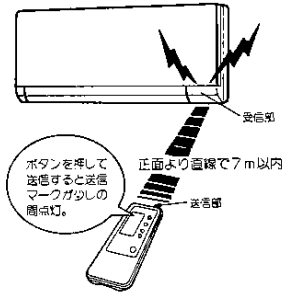


ご注意

- 電池の寿命は通常のご使用で約1年です。リモコンの表示がうすくなったり、エアコン本体に近よらないと動作しない場合は、電池を交換してください。
- 電池は古いものや種類の違うものと混ぜて使わないでください。
- 電池の液漏れによる故障をさけるため、長期間使わないときは電池を全部取り出しておいてください。
- 電池を入れたあと、約5秒後に、時刻表示(午前6:00)が点灯します。
- 現在時刻の合わせかたは13ページを参照してください。

リモコンの使いかた

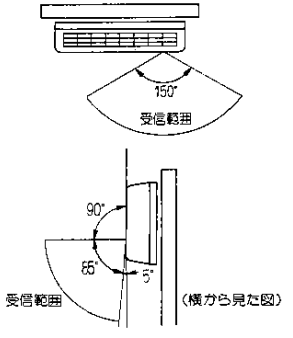
- リモコン送信部を本体受信部へ向けて操作してください。本体が正しく受信しますと"ピピッ"または"ピッ"の音がします。



- 本体とリモコンの間に、カーテンなど信号をさえぎる物があるとエアコンは動作しません。
- 受信距離は直線で約7m以内です。

ワイヤレスリモコン受信範囲の目安

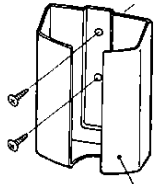
- リモコンで操作できるのは下図の範囲です。
- お部屋の広さや構造で受信範囲は異なりますので目安としてください。



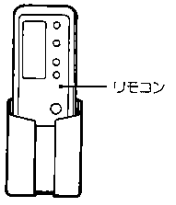
■各部の名称とはたらき

リモコンホルダーの利用について

リモコンホルダーを壁などに取り付け、リモコンを使わないとき収納しておくことができます。



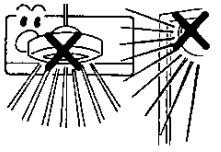
- リモコンホルダーの2ヶ所の穴をネジで壁などに止め、取り付けます。



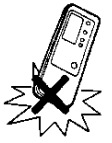
- リモコンをリモコンホルダーに上方から差し込み、収納します。

ご注意

- 本体受信部に直射日光(照明灯の強い光)が当たる場合、エアコンは正しく動作しないことがあります。直射日光はカーテンなどでさえぎってください。



- 電子式瞬時点灯方式、インバーター方式、ラピッドスタート方式の蛍光灯を付けた部屋では、信号を受けない場合があります。あらたに蛍光灯を買われる場合は、販売店にご相談ください。
- リモコンの操作で、他のエアコンや電気機器が動作したり、他のリモコンでエアコンが動作する場合は、離して操作するか、販売店にご相談ください。
- リモコンを直射日光の当たる場所や、他の暖房器具の近くなど高温になる場所に置かないでください。また、水にぬらしたり、衝撃を与えないでください。変形、変色、故障の原因となります。



- 表面の汚れは柔らかい布(ネルなど)で軽く拭き取ってください。

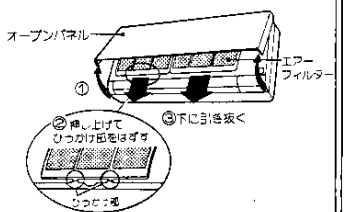
■各部の名称とはたらき

空気清浄フィルターの取り付け

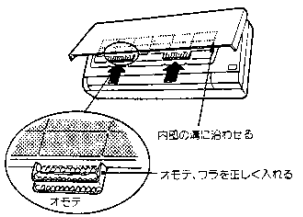
空気清浄フィルターを取り付ける

空気中のチリやホコリを取り除き、たばこの煙も軽減します。

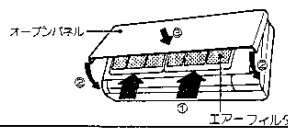
1 オープンパネルの左右下部を持って開き、エアーフィルターをはずします。



2 付属品の空気清浄フィルターを取り付けます。

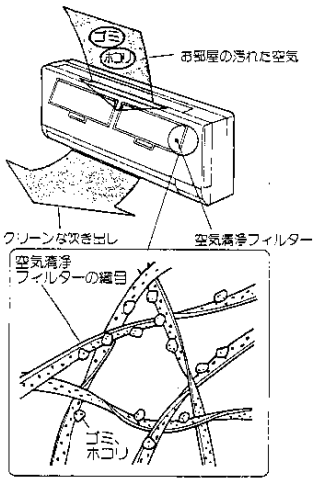


3 エアーフィルターを元どおり取り付けます。オープンパネルを閉じ、中央部を押して、しっかり閉めます。



空気清浄のしくみ

空気清浄フィルターを取り付けることにより、空気中のゴミやタバコの煙を静電気で吸着して捕え、きれいな空気を吹き出します。



- 空気清浄フィルターは使い捨てです。約6カ月で効果がなくなります。交換用フィルターはお買いあげの販売店でご購入ください。
- 6カ月以上たった空気清浄フィルターは掃除しても再使用はできません。
- 空気清浄フィルターの汚れをときどき点検していただき、本体に貼ってある色見本と同程度まで汚れていたら6カ月以内でも、早めに交換してください。
- 空気清浄フィルター形名：(4)48-685

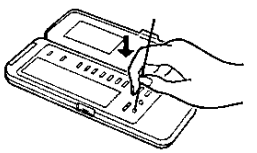
■ご使用方法

現在時刻の合わせかた

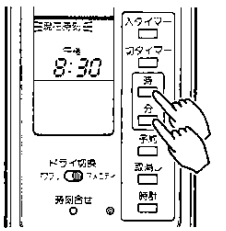
初めてお使いになるときや電池交換をしたとき、次の手順で時刻を合わせてください。
通常運転をするときは現在時刻を合わせなくても支障ありませんが、タイマー運転をする場合は現在時刻合わせが必要です。

例 午後8時30分に合わせるとき

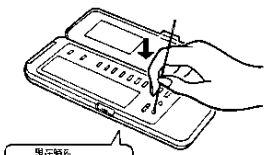
1 リモコンとびら内の
時刻合わせボタン を先の細いもので軽く押します。
- コロンの点滅が止まり、現在時刻表示が点滅します。



2 リモコンのとびら内の
時ボタンを押して午後8に合わせます。
分ボタンを押して午後8:30に合わせます。
- 午前、午後も正しく合わせてください。
- ボタンを押し続けると早送りになります。



3 **時刻合わせボタン** を押します。
- 現在時刻表示の点滅が止まり、コロンが点滅し時計が動き始めます。

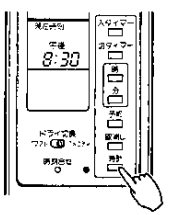


ご注意 ●時刻合わせはタイマーセット中にはできません。タイマーを解除してから、行なってください。

コロンが点滅し時計がスタート。

現在時刻を確認したいとき

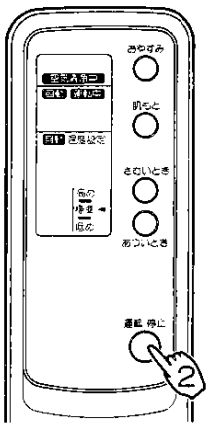
リモコンとびら内の**時計ボタン**を押します。
- タイマーがセットされていないときは常に現在時刻が表示されています。
- タイマーがセットされているときは、時計ボタンを押して確認することができます。タイマー設定表示が消え、現在時刻が表示されます。(約5秒間表示したのち、タイマー設定表示にもどります)



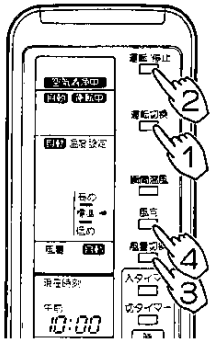
■ご使用方法

自動運転

運転開始時の室温により「マイコンドライ」「冷房」「暖房」のいずれかを自動的に選び運転します。

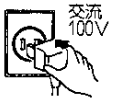


リモコンとびらを閉じたところ



リモコンとびらを開いたところ

準備 電源プラグをコンセントに差し込みます。



- 室外ユニットのガス元栓を全開にします。(39ページ参照)

1 運転切換ボタンを押して、運転切換表示を 自動 表示に合わせます。

2 運転/停止ボタンを押します。
"ピピッ"という受信音がして、運転を始めます。

- リモコンの 運転中 表示、自動 表示、温度設定の高め低め表示、風量切換表示がそれぞれ表示されます。本体の運転ランプが点灯します。

3 風量切換ボタンを押して、風量切換表示をお好みの風量にします。

押すごとに次のように風量が切換わります。
→ 自動 → 微風 → 弱風 → 強風

4 風向ボタンを押して、お好みの風向にします。(21・22ページ参照)

停止 運転/停止ボタンをもう一度押すと運転を停止します。

- リモコンの 運転中 表示、自動 表示、風量切換表示、温度設定の高め低め表示、本体の運転ランプが消えます。

ご注意 自動運転で除湿モードが選択された場合には、アメニティドライではなくマイコンドライ運転となります。

■ご使用方法

自動運転のしくみ

運転開始時のお部屋の温度により、「マイコンドライ」・「冷房」・「暖房」いずれかを自動的に選び、設定温度も自動的に決定して運転します。

運転開始時の室温	運転内容	温度設定
21℃未満のとき	暖房	22℃
21℃～26℃未満のとき	マイコンドライ	運転開始時の室温
26℃～28℃未満のとき	冷房	25℃
28℃以上のとき		26℃

マイコンドライとは、マイコンのはたらきにより、冷房断続運転にてお部屋の温度をできるだけ下げないようにしながら、湿気を取り除くものです。

自動運転では「温度設定」は、自動コントロールされますので、操作の必要はありませんが、もしお好みに合わないときは、次の方法で調節することができます。

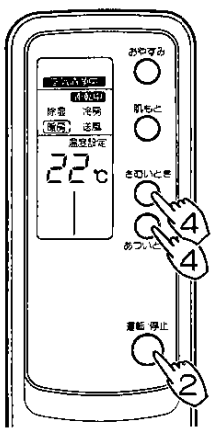
温度設定のしかた

自動運転時は、設定温度を上下2℃まで変えることができます。
温度設定表示は変わりませんが、自動運転の設定温度を基準に、高め低めの表示が表われます。

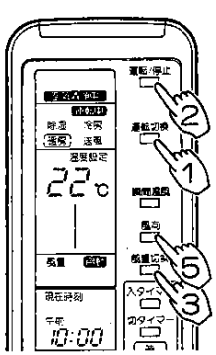
	操作ボタン	リモコン表示	温度設定の内容
自動運転開始時	さむいとき ○ ○ あついとき	高め ― 標準 ◀ ― 低め	自動設定温度を表わします。(冷房時は25℃または26℃ 暖房時は22℃)
ちょっと暑いと感じたとき	○ あついとき 1回押すごとに1℃ずつ設定温度が低くなります。	1回押すと 高め ― 標準 ◀ ― 低め	自動設定温度より1℃低めを表わします。
		2回押すと 高め ― 標準 ― 低め ◀	自動設定温度より2℃低めを表わします。
ちょっと寒いと感じたとき	さむいとき ○ 1回押すごとに1℃ずつ設定温度が高くなります。	1回押すと 高め ◀ ― 標準 ― 低め	自動設定温度より1℃高めを表わします。
		2回押すと 高め ◀ ― 標準 ― 低め	自動設定温度より2℃高めを表わします。

■ご使用方法

暖房運転(手動)



リモコンとびらを閉じたところ



リモコンとびらを開いたところ

準備 **電源プラグ**をコンセントに差し込みます。

- 室外ユニットのガス元栓を全開にします。(39ページ参照)

1 **運転切換ボタン**を押して、運転切換表示を「暖房」に合わせます。

2 **運転/停止ボタン**を押します。
"ピピッ"という受信音がして、運転を始めます。
- リモコンの 運転中 表示、運転切換表示、風量切換表示、温度設定表示がそれぞれ表示されます。本体の運転ランプが点灯します。

3 **風量切換ボタン**を押して、風量切換表示をお好みの風量にします。

押すごとに次のように風量が切換わります。
自動 → 微風 → 弱風 → 強風

4 **温度設定ボタン**を押して、温度設定表示をお好みの温度にします。

1回押すごとに ○ きりいとき キーは1℃低く、○ あついとき キーは1℃高く変化します。

温度設定可変範囲	おすすめ温度
16℃～30℃	20℃～23℃

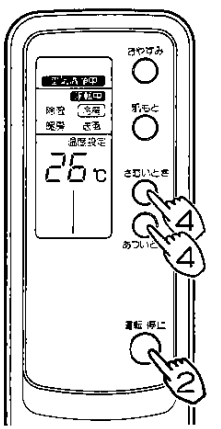
5 **風向ボタン**を押して、お好みの風向にします。(21・22ページ参照)

停止 **運転/停止ボタン**をもう一度押すと運転を停止します。
- リモコンの 運転中 表示、運転切換表示、風量切換表示、温度設定表示、本体の運転ランプが消えます。

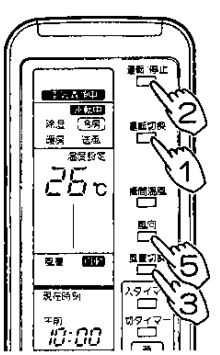
ご注意
- 手動暖房運転中は、風量はできるだけ 自動 でお使い下さい。
- 運転開始のとき、冷風が吹き出さないように、2分間程、ファンが運転しないことがあります。
- 運転を停止した後しばらくファンが回ることがありますが、内部の熱を放出するためで、故障ではありません。

■ご使用方法

冷房運転(手動)



リモコンとびらを閉じたところ



リモコンとびらを開いたところ

準備 **電源プラグ**をコンセントに差し込みます。

1 **運転切換ボタン**を押して、運転切換表示を「冷房」に合わせます。

2 **運転/停止ボタン**を押します。
"ピピッ"という受信音がして、運転を始めます。
- リモコンの 運転中 表示、運転切換表示、風量切換表示、温度設定表示がそれぞれ表示されます。本体の運転ランプが点灯します。

3 **風量切換ボタン**を押して、風量切換表示をお好みの風量にします。

押すごとに次のように風量が切換わります。
自動 → 微風 → 弱風 → 強風

4 **温度設定ボタン**を押して、温度設定表示をお好みの温度にします。

1回押すごとに ○ きりいとき キーは1℃低く、○ あついとき キーは1℃高く変化します。

温度設定可変範囲	おすすめ温度
18℃～32℃	25℃～28℃

5 **風向ボタン**を押して、お好みの風向にします。(21・22ページ参照)

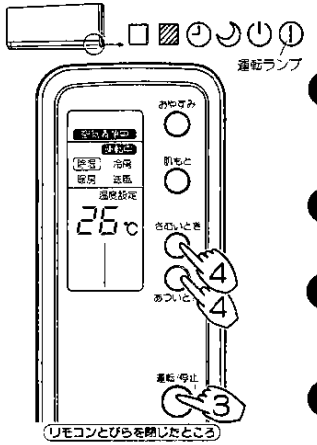
停止 **運転/停止ボタン**をもう一度押すと運転を停止します。
- リモコンの 運転中 表示、運転切換表示、風量切換表示、温度設定表示、本体の運転ランプが消えます。

ご注意
- 温度設定を21℃以下にしたときは、安全装置がはたらき、運転を停止することがあります。
- 冷房運転時、安全装置がはたらき、循環ポンプが作動し、水の流れる音がすることがあります。

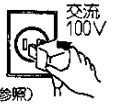
■ご使用方法

アメニティドライ運転

運転モードを「除湿」にしますとアメニティドライ運転となり、冷房・暖房の同時運転による除湿を行ないます。これによりお部屋の温度を下げずに湿気を取り除きます。



準備 **電源プラグ**をコンセントに差し込みます。



- 室外ユニットのガス元栓を全開にしてください。(39ページ参照)

1 **運転切換ボタン**を押して、運転切換表示を「除湿」に合わせます。

2 **ドライ切換スイッチ**にて ドライ能力をアメニティ(弱)または/パワフル(強)に切換えます。

3 **運転/停止ボタン**を押します。"ピピッ"という受信音がして、運転を始めます。

- リモコンの 運転中 表示、運転切換表示、風量切換表示、温度設定表示がそれぞれ表示されます。本体の運転ランプが点灯します。
- 運転開始時の室温が設定温として表示されます。

4 **温度設定ボタン**を押して 温度設定表示をお好みの温度にします。

1回押すごとに ○ あついとき キーは1℃低く、 ○ さむいとき キーは1℃高く変化します。

5 **風向ボタン**を押して、お好みの風向にします。(21・22ページ参照)

停止 **運転/停止ボタン**をもう一度押すと、運転を停止します。

- リモコンの 運転中 表示、運転切換表示、風量切換表示、温度設定表示、本体の運転ランプが消えます。

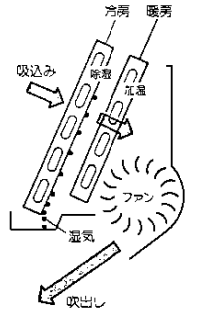
ご注意
- アメニティドライ運転中は運転に適した風量に固定されますので、風量切換はできません。
- ガス元栓が閉じていますと、バーナー安全装置が働き運転が停止します。(44-45ページ参照)

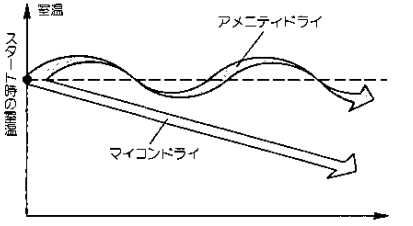
■ご使用方法

アメニティドライ運転のしくみ

冷房・暖房を同時運転することによって室温を全く下げないで湿気を取り除きます。

室内ユニット





(注. この図は原理を表わしたもので実際の構造とは異なります。)

- 冷房により室内の空気の湿気をとり、暖房により、冷えた空気を吸込み温までもどして室内に吹出します。このため室温を全く下げずに除湿を行なうことができます。

ご注意 外気温と設定温の差により、吹出し温は若干変化します。

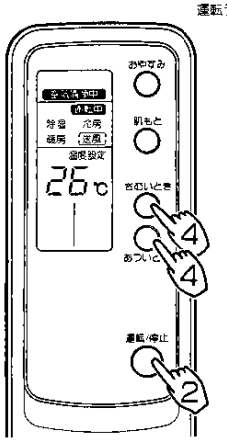
- また、室温の設定も行なえます。
- ドライ能力のアメニティ(弱)はお部屋の湿度が約60%、パワフル(強)は約40%を目安にしております。

ご注意 パワフル(強)で運転された場合、通常の使用条件では連続運転となります。

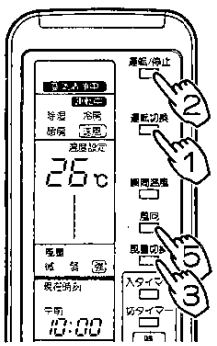
■ご使用方法

送風運転

冷房、除湿運転のシーズン後など、内部をよく乾燥させるために半日ほど送風運転をおすすめします。

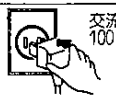


リモコンとびらを閉じたところ



リモコンとびらを開いたところ

準備 **電源プラグ**をコンセントに差し込みます。



1 **運転切換ボタン**を押して、運転切換表示を「送風」に合わせます。

2 **運転／停止ボタン**を押します。
"ピピッ"という受信音がして、運転を始めます。
- リモコンの 運転中 表示、運転切換表示、風量切換表示、温度設定表示がそれぞれ表示されます。本体の運転ランプが点灯します。

3 **風量切換ボタン**を押して、風量切換表示をお好みの風量にします。

押すごとに次のように風量が切換わります。
微風 → 弱風 → 強風

4 **温度設定ボタン**を押して、温度設定表示をお好みの温度にします。

1回押すごとに ○あついとき キーは1℃低く、○ぬるいとき キーは1℃高く変化します。

5 **風向ボタン**を押して、お好みの風向にします。(21・22ページ参照)

停止 **運転／停止ボタン**をもう一度押すと、運転を停止します。
- リモコンの 運転中 表示、運転切換表示、風量切換表示、温度設定表示、本体の運転ランプが消えます。

ご注意
- 送風運転時、風量 自動 は設定できません。

■ご使用方法

風向調節

吹出口には風向を上下に調節する上下風向調節板と、左右に調節する左右風向調節板があります。

上下の風向はそれぞれの運転に適した向きに自動的に調節されます

冷房・マイコンドライ
アメニティドライ・送風運転

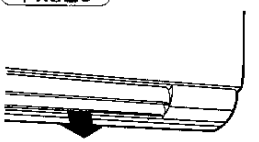
風がお部屋全体に行きわたり、温度ムラの少ない運転ができます。

水平吹き出し

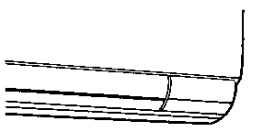
暖房運転

温風が足元までとどき、温度ムラの少ない運転ができます。
- 暖房運転時で吹き出し温度が低いとき、寒さを感じないよう一時的に水平吹き出しになることがあります。

下吹き出し



エアコン停止時
- 自動的に閉じた状態になります。
運転を始めると自動的に開きます。



ご注意
上下風向調節板は手で操作しないでください。
- 続いてリモコンで調節するときに、誤った動きの原因になります。
- 手で下向きにし、長時間冷房・マイコンドライ・アメニティドライ運転すると、露がついて落ちることがあります。

■ご使用方法

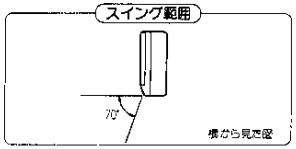
お好みに合わせて風向が上下に連続して変わる「スイング運転」にしたり、
風向を自由な位置に止めたりすることができます。

上下の風向調節

必ずリモコンの風向ボタンで調節してください。

スイング運転

風向ボタンを一度押します。

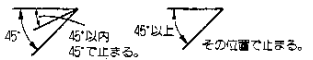


お好みの位置で止める

もう一度
風向ボタンを押します。

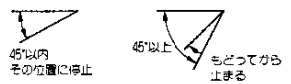
暖房運転時

- 45°以内の場合は、上下風向調節板が45°まで移動してから止まります。
- 45°以上では、その位置で止まります。



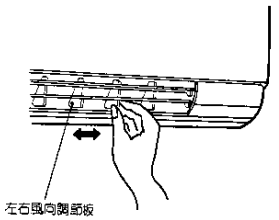
冷房・マイコンドライ・アメニティドライ・送風運転時

- 45°以内までは、上下風向調節板が、その位置に止まります。
- 45°以上の場合は、45°までもどってから止まります。



左右の風向調節

左右風向調節板をお好みの位置になるよう手で調節してください。



ご注意 風向ボタンで調節をした位置は、エアコンが記憶しており、次の運転時も同じ位置になります。ただし運転内容を変更したとき(「暖房」から「冷房」へ、など)は運転に適した風向に戻ります。

■ご使用方法

おやすみ運転

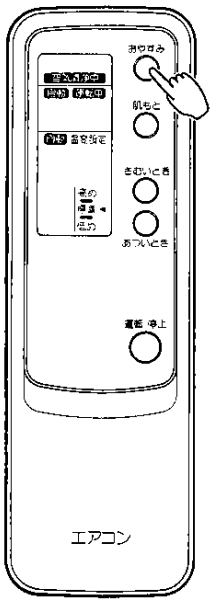
自動的に設定温度を調節してお部屋の冷やしすぎや暖めすぎをおさえます。また、おやすみ時におやすみ運転にしておけば冷房時の寝冷えや暖房時の寝苦しさをやわらげます。さらに切タイマー運転を組み合わせてセットすれば、お望みの時間に運転を停止します。(28~32ページ参照)

運転

自動・除湿・冷房・暖房中に
おやすみボタンを押します。
- 本体のおやすみランプが点灯します。

取消し

もう一度
おやすみボタンを押します。
- 本体のおやすみランプが消え、もとの運転にもどります。



リモコンとびらを閉じたところ

おやすみ運転のしくみ

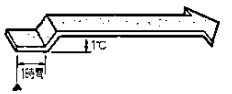
おやすみ中、夏の冷房時には冷え過ぎ、冬の暖房時には暖め過ぎをやわらげるように、自動的に室温を調節します。

暖房時

おやすみボタンを押すと、自動運転時は1℃に、手動運転時はお好みの設定温度から4℃下げて運転し、暖め過ぎをやわらげます。
(リモコンの温度設定表示は変わりません)

冷房・マイコンドライ・アメニティドライ時

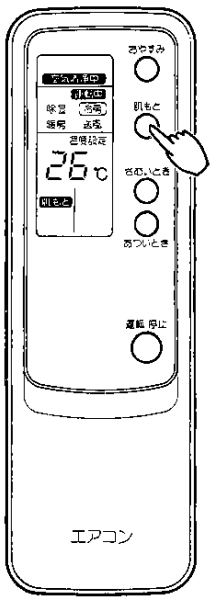
おやすみボタンを押した1時間後に設定温度を自動的に1℃上げて運転し、冷え過ぎをやわらげます。
(リモコンの温度設定表示は変わりません)



■ご使用方法

肌もと運転

お部屋の温度よりも、もっと体の近くの温度をコントロールしたいときに、リモコンを体の近くに置いてお使いください。



エアコン

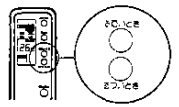
リモコンとびらを閉じたところ

運転

運転中に
肌もと(体感コントロール)ボタンを押します。
リモコンに肌もと温度が5秒間表示
された後 肌もと 表示します。

肌もと運転中に

●温度設定を変えたいとき



運転中に、温度設定ボタンを押して、お好みの温度に合わせる。

取消し

もう一度
肌もと(体感コントロール)ボタンを押します。
リモコンの 肌もと 表示が消え、もとの運転にもどります。

肌もと運転のしくみ

通常の運転は、エアコン本体で温度をはかり、室温を調節しています。

肌もと運転では

リモコン内部の肌もとセンサーのはたらきでリモコンを置いた付近のお部屋の温度（肌もと温度）をはかり、調節します。

リモコンの置きかた

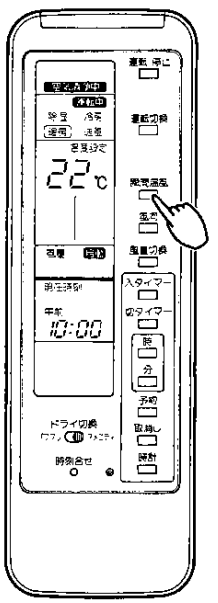
リモコンの送信部をエアコン本体に向けて置き、正しく受信されることを確めます。肌もとボタンを押したときに受信音がすると、正しく受信しています。

●リモコンの置き場所を移動した場合
一度肌もと運転を取り消し、再度設定すると温度設定に速く近づきます。

■ご使用方法

瞬間温風運転（暖房時のみ）

暖房運転開始後、すぐに高温風が吹出し、お部屋をす速く暖めます。



リモコンとびらを開いたところ

運転

暖房運転中または、暖房停止中に
瞬間温風ボタンを押します。
●瞬間温風ランプが点灯します。

取消し

もう一度
瞬間温風ボタンを押します。
●瞬間温風ランプが消え、もとの運転にもどります。

瞬間温風運転のしくみ

●暖房運転開始時に即温風が吹出すよう、暖房運転停止中に温水の循環（燃焼）・停止を行ない温水温度を常に約60℃に保っておきます。
●瞬間温風のセットは、自動運転選択時による暖房モード、及び手動時の暖房モードにて、暖房運転中、停止中にできます。

瞬間温風セット中、室外ユニットは断続的に運転しますので御承知おきください。

ご注意

●暖房運転停止状態が12時間以上続いた場合は瞬間温風は解除(ランプ消灯)されます。
●暖房以外の運転モードに切換えますと、瞬間温風は解除(ランプ消灯)されます。
●暖房運転停止中に入タイマーがセットされている時には瞬間温風はセットできません。
●瞬間温風セット中（暖房運転停止時）に入タイマーをセットしますと瞬間温風は一旦解除（ランプ消灯）されますがその後入タイマーにて運転開始または、入タイマーを解除しますと瞬間温風は自動的にセット（ランプ点灯）されます。

■ご使用方法

急速運転 （暖房時のみ）

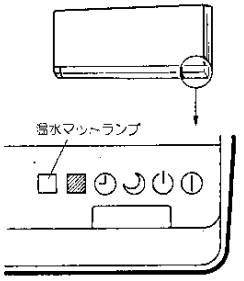
運転開始時に通常の能力よりさらに大きな能力を出して、す速くお部屋を暖めます。

急速運転のしくみ

- お部屋の温度が、設定した温度より2℃以上低い場合に、運転開始から15分以内の間に限って、通常よりも約15%能力をアップして運転します。
  但し、風量設定が、「弱風」、「微風」の場合は急速運転は行ないません。
- 再度急速運転を行ないたい時は、一旦停止し、もう一度運転操作してください。

温水マット運転 （暖房時のみ）

この項目は温水マット(別売)を使用された場合にお読みください。
温水マットを接続することにより、安全で手軽に快適な床暖房が実現します。



運転 室内ユニット暖房運転中または、停止中に温水マットの
温水マットスイッチを入れます。
- 室内ユニット本体の温水マットランプが点灯し、温水マット運転を始めます。

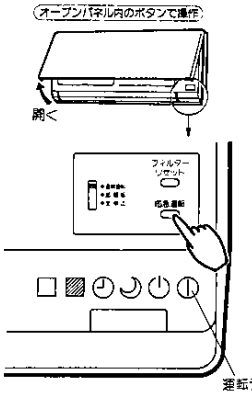
停止 **温水マットスイッチ**を切ります。
- 室内ユニット本体の温水マットランプが消え、温水マット運転を停止します。

●詳細は温水マット(別売)の取扱説明書をごらんください。

■ご使用方法

応急運転

リモコンの紛失や故障で操作ができないときの、応急的な運転にのみ使用してください。



運転 オープンパネルを開いて
応急運転ボタンを押します。
運転ランプが点灯し、応急運転となります。
- 室温に応じて、エアコンが自動的に「マイニンドライ」「冷房」「暖房」のいずれかを選び運転します。設定温度、風量も自動的に選んで運転します。
- 運転準備は、14ページ自動運転と同じ要領です。

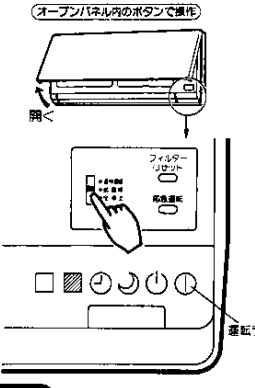
オープンパネルをもとどおり閉めます。

停止 もう一度、オープンパネル内を開けて
応急運転ボタンを押します。
運転ランプが消え、運転が停止します。

- 通常の運転中に応急運転ボタンを押すと、運転を停止します。

試運転

据付時の試運転のさいに使用するもので、温度調節がはたらかず連続運転となりますので、通常は使用しないでください。



運転 オープンパネルを開いて
切換つまみを「試運転」にします。
リモコンの**運転切換ボタン**を操作して「冷房」にした後、
運転／停止ボタンを押します。
運転ランプが点滅し、冷房の試運転となります。

オープンパネルをもとどおり閉めます。

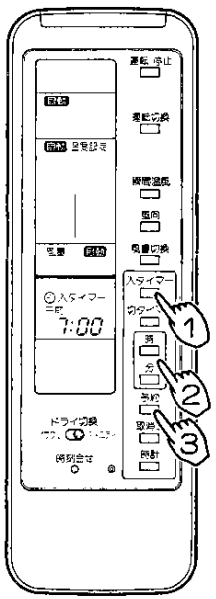
停止 リモコンの**運転／停止ボタン**を押します。
運転ランプが消え、運転が停止します。
- オープンパネル内の切換つまみを通常の位置にもどしてください。

ご注意
- 暖房の試運転をしたい場合は、リモコンの運転切換ボタンを操作して、「暖房」にして運転してください。
- 切換つまみを「全停止」にするとリモコンからの送信は受信できません。据え付け時の循環水の注水に使います。

■ご使用方法

タイマーの使い方

タイマー運転には①入タイマー運転 ②切タイマー運転 ③入・切タイマー組み合わせ運転の3つの種類があります。
タイマー運転をするときは、必ずリモコンの現在時刻が正しく合っていることを確認してください。
（時刻が正しく合っていないときは、13ページの「現在時刻の合わせかた」を参照し先に合わせてください。）



リモコンとびらを開いたところ

入タイマー運転のしかた

お望みの時間にお好みの室温に近づいているように運転しておきたいときに使います。自動的におはようメモリータイマー機能がはたらきます。

1 入タイマーボタンを押します。
- 入タイマーの文字が点滅します

2 時・分ボタンを押して、お望みの時刻にセットします。
- 入タイマーの文字が点滅している間にセットします。

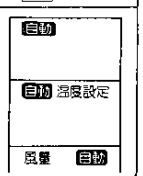
リモコンを受信部に向けて……

3 入タイマーの文字が点滅している間に予約ボタンを押します。
- 本体のタイマーランプが点灯し、リモコンの入タイマーの文字の点滅が止まります。

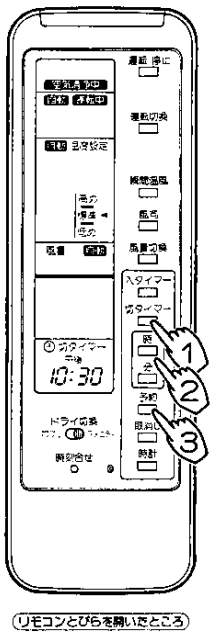
- 受信音がして、本体のタイマーランプが点灯します。

ピッ

予約したい運転を設定します
- 運転内容→
- 風量設定→
- 温度設定→



■ご使用方法



リモコンとびらを開いたところ

切タイマー運転のしかた

お望みの時間に運転を停止したいときに使います。

1 切タイマーボタンを押します。
- 切タイマーの文字が点滅します。

2 時・分ボタンを押して、停止したい時刻にセットします。
- 切タイマーの文字が点滅している間にセットしてください。

リモコンを受信部に向けて……

3 切タイマーの文字が点滅している間に予約ボタンを押します。
- 本体のタイマーランプが点灯し、リモコンの切タイマーの文字の点滅が止まります。

- 受信音がして、本体のタイマーランプが点灯します。

ピッ

■ご使用方法

入タイマーと切タイマーの組み合わせ運転のしかた

入タイマー、切タイマーそれぞれ28・29ページの方法でセットします。

入タイマー、切タイマーはどちらを先にセットしてもかまいません。

ご注意

- 入タイマーまたは切タイマーの文字が点滅している間に「時」または「分」ボタンを押さないと自動的に現在時刻表示に戻ります。予約ボタンを押さなかった場合も同様です。
  そのときは、1から操作しなおします。セットしなおしたいときも同様です。
- タイマー運転をセットしている場合、表示部はセットした入タイマー、切タイマーの内容を表示しています。現在時刻を知りたいときは、時計ボタンを押すと、約5秒間表示されます。

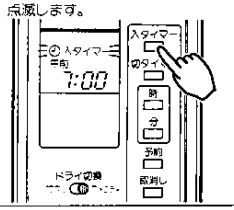
おはようメモリータイマー機能について

- 入タイマー運転は、セットされた時間にお部屋の温度がお好みの温度に近づいているよう、セット時間の0～30分前から運転を開始します。
  但し、自動運転マイコンドライモードまたは、アメニティドライ運転時はセットされた時間より運転を開始します。
- お部屋の大きさや状態により、セット時間にお好みの温度になっていないことがあります。

タイマー運転を取消したいとき

1 入タイマーは**入タイマーボタン**
切タイマーは**切タイマーボタン**
を押します。

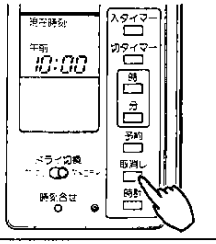
- 入タイマーまたは切タイマーの文字が点滅します。



リモコンを本体受信部に向けて……

2 入タイマーまたは切タイマーの文字が点滅している間に
取消しボタンを押します。

- リモコンの入タイマーまたは切タイマーの文字とタイマー設定時刻が消えます。入タイマー、切タイマーともに取消したときは、現在時刻が表示され本体のタイマーランプが消えます。



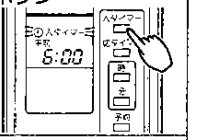
■ご使用方法

タイマーの使用例

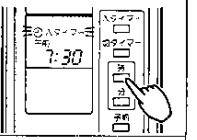
入タイマー運転

例1 手動運転で、午前7時30分にお部屋の温度が24℃になるよう暖房運転したいとき

1 入タイマーボタン
を押します。

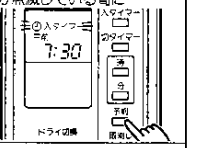


2 時・分ボタン
を押して
午前7：
30にセッ
トします。

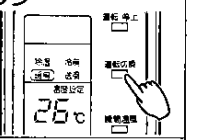


リモコンを本体受信部に向けて……

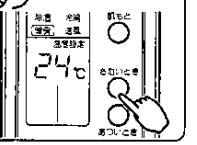
3 入タイマーの文字が点滅している間に
予約ボタン
を押します。



4 運転切換ボタン
を押して
「暖房」に
切換えま
す。

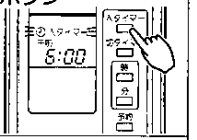


5 温度設定ボタン
を押して
24℃にセ
ットしま
す。

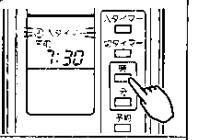


例2 自動運転で、午前7時30分にお部屋の温度が適温になるよう運転したいとき

1 入タイマーボタン
を押します。

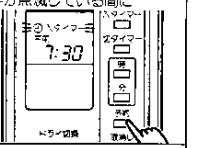


2 時・分ボタン
を押して
午前7：
30にセッ
トします。

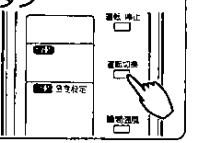


リモコンを本体受信部に向けて……

3 入タイマーの文字が点滅している間に
予約ボタン
を押します。



4 運転切換ボタン
を押して
自動に切
換えます。



ご注意

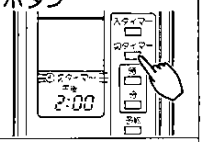
- 自動運転の場合は温度設定は必要ありません。エアコンが自動的に運転内容と温度設定を決定します。

■ご使用方法

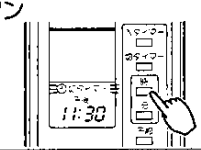
切タイマー運転

例3 午後11時30分に運転を停止させたいとき

1 切タイマーボタン を押します。

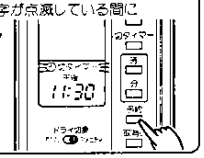


2 時・分ボタン を押して午後11：30にセットします。



リモコンを本体受信部に向けて

3 切タイマーの文字が点滅している間に 予約ボタン を押します。



ご注意

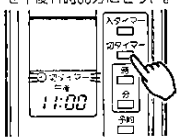
組み合わせ運転は

入タイマー、切タイマーはどちらを先にセットしてもかまいません。異なった運転内容の入・切組み合わせはできません。

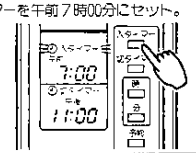
入・切タイマー組み合わせ運転

例4 自動運転を午後11時00分に停止し、同じ運転で午前7時00分にお部屋を適温にしておきたいとき。

1 切タイマーを午後11時00分にセット。

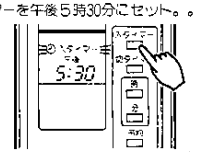


2 入タイマーを午前7時00分にセット。

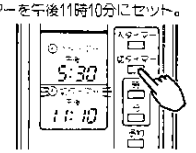


例5 自動運転で午後5時30分にお部屋が適温になるように運転し、午後11時10分に停止したいとき

1 入タイマーを午後5時30分にセット。。



2 切タイマーを午後11時10分にセット。



■知っていただきたいこと

エアコンの運転条件

温度が次のようなときは、保護装置がはたらき運転できないことがあります。

冷房運転	外気の温度　43℃以上 部屋の温度　21℃以下
アメニティドライ運転	部屋の温度　18℃以下

湿度が80%以上ある場合、長時間冷房・マイコンドライ・アメニティドライ運転していますと、吹出口付近に露がつき落ちることがあります。

冷房時3分間停止装置（保護装置）について

冷房・マイコンドライ・アメニティドライ運転時の次の場合、保護装置がはたらき、すぐには運転しませんがしばらくして自動的にもとの運転にもどります。

- 運転を停止してすぐに再運転させたとき、運転切換をおこなったときは、約3分間運転しない場合があります。
- 電源プラグを、コンセントに差し込んですぐに運転させた場合は約20秒後に運転を始めます。

ホットキープ回路

暖房時お部屋が暖まり設定温度になりますと、室外ユニットが停止し、少し遅れて室内ファンも停止します。
これは送風による肌寒さを防ぐためです。

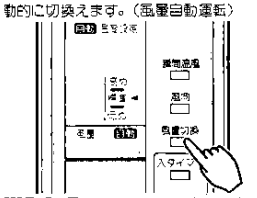
暖房運転の特性

冷風防止

- 運転開始のとき、冷風が吹き出さないように室内ユニット内が暖まるまで、2分間程ファンが運転しないことがあります。

風量切換について

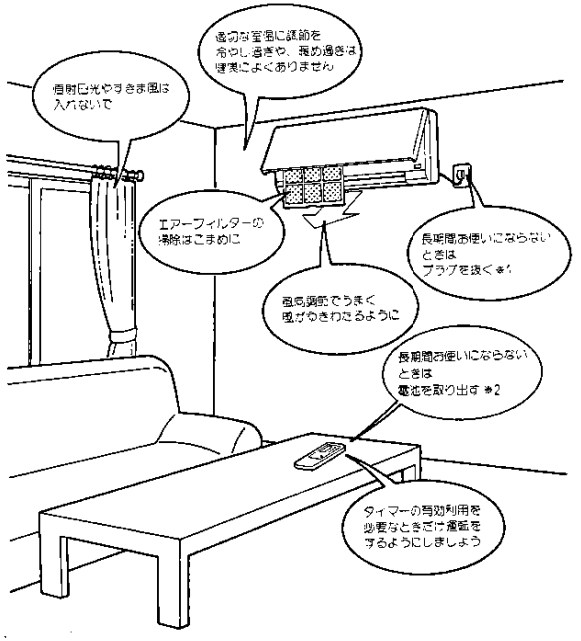
- 「風量切換」を 自動 にセットしますと、室温の変化に応じ、きめ細かく風の強さを自動的に切換えます。（風量自動運転）



- 「弱風」「微風」にセットしますと、このエアコンの持っている最大能力での運転はしません。暑さ寒さの厳しいときや、運転開始時など大きな能力が必要なときは、「自動」「強風」に切換えてご使用ください。
- アメニティドライ運転にしますと、運転に適した風量に固定されますので、風量切換はできません。
また、自動運転マイコンドライモード時ではリモコンの風量切換表示は変わりますが室内ユニットは受けつけず、風量切換はできません。

■上手な使いかた

電気・ガスを節約し快適にお使いいただくための注意



長期間お使いにならないときは

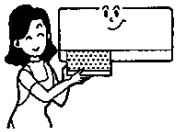
※1　運転していないときでも、マイコンをはたらかせるために、約4ワットの電気が流れています。
※2　電池の液もれによる故障を防ぎます。

■日常の点検、お手入れのしかた

シーズン前の点検

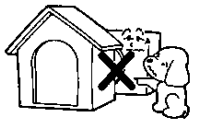
エアーフィルターが入っていますか

入れないで運転しますと、室内ユニットの内部が汚れ故障の原因になります。



室内・室外ユニットの吸込口・吹出口をふさがないで

性能が低下し、異常や故障の原因になります。



据付台の確認

室外ユニットの据え付けに据付台を用いている場合は台が腐ったりさびたりして、強度が弱くなっていないか確認してください。とくに室外ユニットを屋根や外壁に据え付けている場合は注意し、異常な場合はお買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

■日常の点検、お手入れのしかた

お手入れするときは、必ず運転を止めてください。
なお、本体のお手入れのときは、必ず電源プラグを抜いてください。

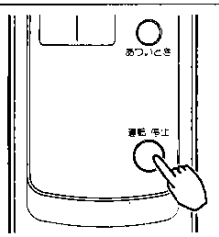
エアーフィルターのお手入れ

お手入れの目安

フィルターランプが点滅したら必ず掃除してください。
（運転約120時間で点滅します。）
とくにほこりの多いところでは、ランプが点滅しなくても1週間に1回程度を目安に掃除してください。

1 運転を停止

リモコンの運転／停止ボタンを押して運転を停止します。

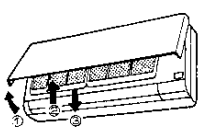


2 エアーフィルターをはずす

1 オープンパネルを開く。

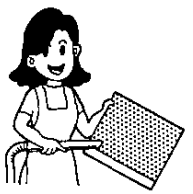
2 エアーフィルターを軽く押し上げてひっかけ部をはずす。

3 下へ引き出す。



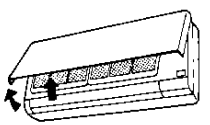
3 エアーフィルターの掃除

掃除機でほこりを取ります。
汚れのひどいときは、台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗います。
洗浄後は、日陰で乾かします。



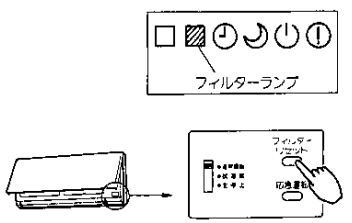
4 エアーフィルターの取り付け

2枚のエアーフィルターを元どおり取り付けます。



5 フィルターランプが点滅しているときフィルターリセットボタンを押します。

フィルターランプが消えます。

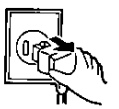


■日常の点検、お手入れのしかた

本体のお手入れ

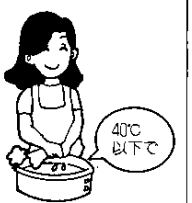
電源プラグを抜く

運転を停止して、プラグを持って抜いてください。



やわらかい布でからぶき

本体の汚れがひどい場合は、40℃以下のお湯か水で汚れを拭き取ってください。
（ぞうきん、布などは水をよくしぼってください。）

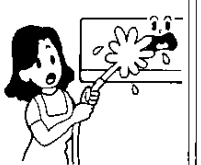


揮発性のものは使わないで

ベンジン、シンナー、みがき粉などを使用すると、製品を傷めることがありますので使用しないでください。

水をかけないで

室内ユニット、室外ユニットなどに直接水をかけて掃除することは絶対にさけてください。感電する恐れがあります。



■日常の点検、お手入れのしかた

シーズン後のお手入れ

1 半日送風運転（冷房・アメニティドライ運転のシーズン後など）

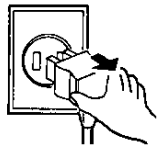
内部をよく乾燥させるために、半日ほど送風運転をしてください。
（20ページ参照）

2 電源プラグを抜く

運転を停止して、電源プラグを抜いてください。

ご注意

- 電源プラグを抜くときは、プラグ部を持って抜いてください。

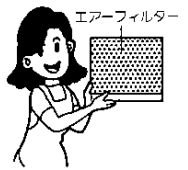


3 ガス元栓を閉じる

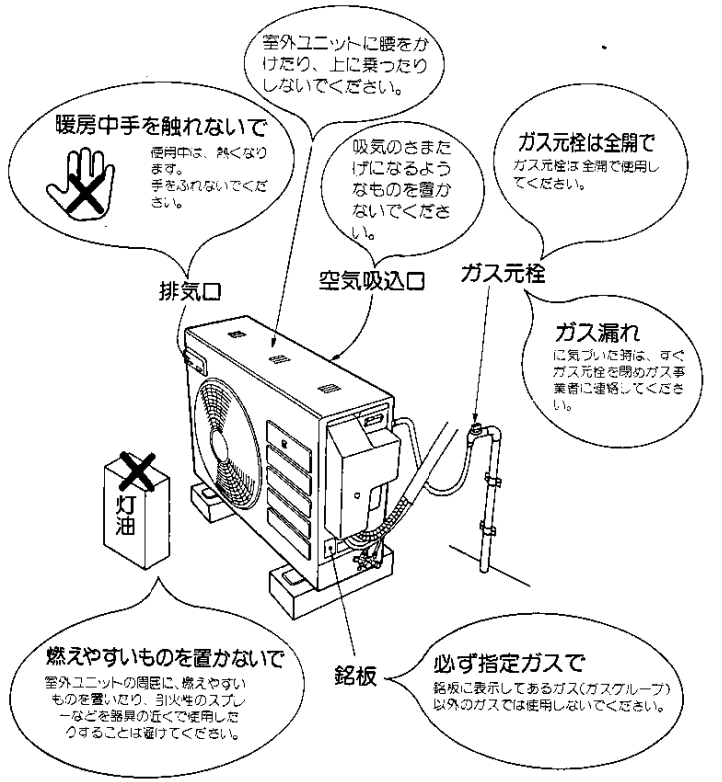
室外ユニットのガス元栓を全閉にしてください。

4 エアーフィルターの掃除

エアーフィルターを掃除し、元どおり取り付けてください。



■ご使用上の注意



ご注意

- 万一、供給ガスの種類と違っている場合は、お買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用しますと性能が不十分であったり、危険な場合もあります。
- 特に転居されたとき、供給ガスの種類が一致しない場合があります。この場合には、ガス事業者にご相談ください。

■設置について

設置前のご注意

- ガス種・使用電源については、室外ユニット右側面の銘板に表示してあります。（39ページ参照）
- 銘板に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは、使用しないでください。
- この器具は、AC100V(50/60Hz)用です。AC100V以外の電源電圧では、使用できません。
- 設置には専門の技術が必要です。お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社へご相談ください。

設置場所

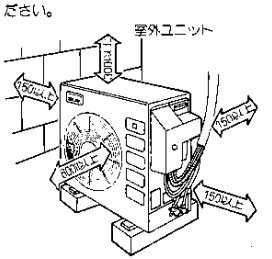
- 工場、海岸地区、温泉地帯など、特殊な場所で使用しますと、故障することがあります。
- 可燃性ガスが漏れる恐れのある場所には据え付けないでください。
- 室外ユニットは、風通しの良い場所に据え付けてください。
- 室内ユニットは、吸込口、吹出口の近くに空気の流れをさまたげる障害物がなく、部屋全体に風がゆきわたる場所に据え付けてください。
- エアコン本体およびリモコンにテレビやラジオなどを近づけますと、映像の乱れや、雑音が入ることがあります。
  1ｍ以上離してください。

電気配線

- アース線は、次のところへ接続しないでください。
  - ガス管
    爆発や引火の危険性があります。
  - 水道管
    プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
  - 避雷針・電話のアース
    落雷のときに大電流が流れ危険です。
- 万一の感電防止のため、またマイコンの誤動作を防ぐためアースを取りつけてください。
- 電源は必ずエアコン専用の回路をご使用ください。

周囲の防火措置

- 火災予防上、下図に示す範囲に可燃物がないよう器具の周囲は十分な間隔をとってください。



（単位：mm）

運転音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、室外ユニットの重量に十分耐える場所で、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
- 室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、機能低下や運転音の増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- エアコンをご使用中に異常な音がする場合は、お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社へご相談ください。

移設のときは

ご転居や、別の部屋に移される場合は、専門の技術が必要ですので、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社へご相談ください。なお、この場合は移設に必要な実費をいただくことになります。
お客様自身でおこなわれますと、ガス(冷媒)や温水が噴出したり、配管および配管接続部が破損し、故障の原因になります。

■修理を依頼される前に

次のことをお調べください

現　象	点　検　事　項
運転しないとき	●電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ●室外ユニットのガス元栓が全開になっていますか。(39ページ参照) ●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
よく暖まらないとき (よく冷えないとき)	●エアーフィルターにほこりが詰っていませんか。 ●室温調節が適正な温度になっていますか。 ●(冷)温風吹出口が障害物でふさがれていませんか。 ●部屋の窓や戸があいていませんか。

こんな場合は故障ではありません

対　象		理由と処置
室内ユニット	部屋がにおう	●室内ユニットから吹き出す風がにおうことがあります。これはお部屋や家具などのにおい、たばこのにおいなどが室内ユニットに付着し吹き出されるためです。
	音がする	●運転中や停止直後に、室内ユニットから「シュルシュル」という音や水の流れるような音がすることがあります。これは室内ユニット内部のガス(冷媒)あるいは温水が流れる音です。 ●運転中に室内ユニットから「ピシッ」という音がすることがあります。これは室内ユニット自身が温度変化によって膨張したり収縮するために出る音です。
	霧が見える	●冷房・マイコンドライ運転中に吹出口から霧(煙のように見える)が出ることがあります。これは吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて、霧状に見えるためです。
室外ユニット	点火したとき「ポッ」という音がする。	●点火音であり故障ではありません。
	点火後「コツコツ」という音がする。	●故障ではありません。器具内部の膨張・収縮の音です。
	初めて使用するとき、煙やにおいが出る。	●故障ではありません。油などが焼けるためです。 しばらくするとにおいは、なくなります。
	使用中に湯気が出る。	●暖房運転中に配管から湯気（煙のように見える）が出ることがあります。これは温水によって水滴が蒸発しているためです。

以上のことをお調べになってもなお、異常のあるときやおわかりにならないときは、お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。
不完全な処置は事故のもとになります。

■修理を依頼される前に

暖房運転時の故障、異常の見分け方と処置について

●「現象」「原因」「処置方法」の順序で該当項目をご確認ください。

現象／原因	スパーク音がしない	点火しにくい 点火しない(燃焼ランプが点灯しない)	ガスの臭いがする	使用中に消火する	(消えてしまう) 異常な音をたてる	部屋の暖まりが悪い	処置方法	参照ページ
電源プラグが差し込んでない。	●	●					電源プラグを確実に差し込んでください。	14～16
ガス元栓の開き忘れ・開き不十分。		●	●	●		●	ガス元栓を全開にしてください。	39
ガス元栓と器具間の配管内に空気が残っている。		●	●				運転操作をくり返してください。	14～16
ガス配管の接続が不完全。			●				確実に接続してください。	39
ガスの種類が違う。		●	●	●	●	●	室外ユニット本体右側面の銘板を確認してください。	39
ガス元栓と器具間の配管の長すぎ、折れ曲がり、つぶれ。		●	●	●		●	不具合を除き再運転してください。	
ガス元栓と器具間の配管のひび割れ・穴あき。			●				ガス元栓と器具間の配管を交換してください。	
室外ユニットの空気吸込口や排気口に障害物があったり、目づまりしている。		●	●	●	●	●	日常の点検手入れを実施してください。障害物を除き再運転してください。	39・40
点火(燃焼を開始)したばかりである。			●				点火時、少し異うことがあります。	
スパーク装置の故障（コード外れなど)。	●	●					点検修理を依頼してください。	
安全装置が作動した。	●	●		●	●	●	点検修理を依頼してください。	44・45

以上の方法で点検、処置しても直らないとき、また点検しても心配なときは、お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

■修理を依頼される前に

冷房・マイコンドライ時の故障・異常の見分け方と処置について

●「現象」「原因」「処置方法」の順序で該当項目をご確認ください。

現象／原因	運転しない	よく冷えない	部屋がにおう	音がする	霧が見える	処置方法	参照ページ
電源プラグが差し込んでない。	●					電源プラグを確実に差し込んでください。	14～19
ヒューズやブレーカーが切れている。	●					ヒューズを取替えてください。ブレーカーを入れてください。	
停電である。	●					通電後再操作してください。	
エアーフィルターにほこりが詰まっている。		●				エアーフィルターを掃除してください。	36・37
温度設定が適切でない。除湿運転にセットされている。		●				低い温度に設定してください。冷房運転にセットしてください。	14～19
部屋の窓や戸が開いている。		●				窓や戸を閉めてください。	
部屋や家具のにおい、たばこのにおい等がエアコンに付着している。			●			器具内部の空気通路を掃除してください。	
配管内を冷媒(ガス)が流れる音がする(シュルシュル音)。				●		故障ではありません。そのままお使いください。	
温度変化により器具が膨張・収縮する音(ピシッ音)がする。				●		同　上	
エアコンから吹出される冷風でお部屋の空気が冷やされて霧状に見える。					●	同　上	
冷媒(ガス)が抜けている。		●				点検修理を依頼してください。	

●アメニティドライ運転時の故障・異常の見分け方と処置については、暖房運転時および冷房・マイコンドライ運転時の両方の処置のしかたを参考にしてください。

以上の方法で点検、処置しても直らないとき、また点検しても心配なときは、お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

■修理を依頼される前に

≫●≪：点滅　○：消灯

安全装置	働き	安全装置作動時の表示(室内ユニットのランプ)					
		暖水マットランプ	フィルターランプ	タイマーランプ	おやすみランプ	暖房運転ランプ	運転ランプ
バーナー安全装置	使用中にバーナーが消火した場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。	○	○	≫●≪	○	≫●≪	○
	点火時、バーナーに着火しなかったときなどに安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。	○	○	○	○	≫●≪	○
異常過熱防止装置（温度スイッチ）	空気吸込口や排気口に障害物があったり、目づまりした場合、器具内が異常に過熱します。この場合自動的にガス通路を閉じ消火します。	○	○	○	≫●≪	≫●≪	○
異常過熱防止装置（温度ヒューズ）	万一異常過熱したときに、温度ヒューズが切れて消火します。	○	○	○	≫●≪	≫●≪	○
ユニット間配線不良検出装置	室内外ユニット間の配線が断線したとき安全装置が働き使用できなくなります。	○	≫●≪	≫●≪	≫●≪	≫●≪	≫●≪
電流ヒューズ	ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて使用できなくなります。	○	○	○	○	○	○
停電安全装置	安全装置が作動し、運転を停止します。停電後、再通電されても再点火しません	○	○	○	○	○	○

■修理を依頼される前に

ご注意　安全装置が作動したあと、点検して再運転しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

原因	処置方法
ガス元栓が開き足りなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。	点検後、再運転してください。
ガス元栓が開き足りなかったときなどに作動します。	
室外ユニットの暖房部空気吸込口あるいは、燃焼ガス排気口の目づまりや近くに障害物がある。	目づまり部の掃除や障害物を取り除いた後、しばらく(5～6分)してから再運転してください。
異常過熱状態になった。	器具を冷やしても再運転できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。
ユニット間の配線が断線した。	修理が必要です。お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。
電気回路がショートした。	器具を冷やしても再運転できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。
停電した。	停電中は必ずガス元栓を閉じておいてください。

■異常時の処置

雷時の注意

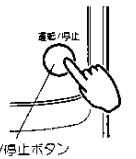
- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
  電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。

異常時の注意

- 異常と思われたときは、P41～P45「修理を依頼される前に」をご確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

停電について

運転中に停電した場合は、すべての運転を停止します。運転を再開するときは、運転／停止ボタンを押し直してください。



■仕様と外形寸法図

室内・室外ユニットの組み合わせ		室内	48-622・48-623
		室外	43-064
種類			冷暖房兼用セパレート形
電源			単相100V・60Hz
冷房	冷房能力（KW）		2.5
	冷房の目安		7～10畳
	消費電力（W）		830
	運転電流（A）		8.4
暖房	暖房の目安		木造住宅11畳まで コンクリート住宅15畳まで
	消費電力（W）		113
	運転電流（A）		1.34
圧縮機出力（W）			600
重量（kg）		室内	10.5
		室外	40
外形寸法（mm）幅×奥行×高さ		室内	815×183×330
		室外	760×245×590
安全装置		冷房	オーバーロードリレー・冷房時3分間停止装置
		暖房	立消安全装置　異常過熱防止装置（異常過熱防止用温度スイッチ） 停電安全装置　　（異常過熱防止用温度ヒューズ） 電流ヒューズ
附属品			取扱説明書、工事説明書、保証書、リモコン、据付型紙、空気清浄フィルター（2個）、リモコンホルダー、電池（単4×2本）、樹脂管バンド（4個）、たて桟（2個）、裏板、温水接続器A・B、ネジカバー（3個）、ネジ（長）（10個）、ネジ（短）（8個）、ウォールキャップ、オーバーフローホース、不凍液タンク、不凍液タンクダンボール、不凍液タンクホース

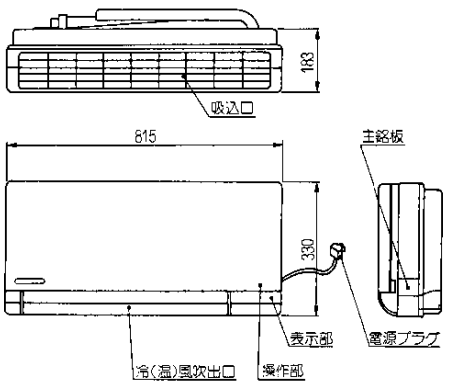
使用ガス	形式の呼び	ガス消費量	ガス接続口
13 A	RLW-4122	4.500kcal/h	R1/2ネジ
LPガス	RLW-4122	0.375kg/h	

■仕様と外形寸法

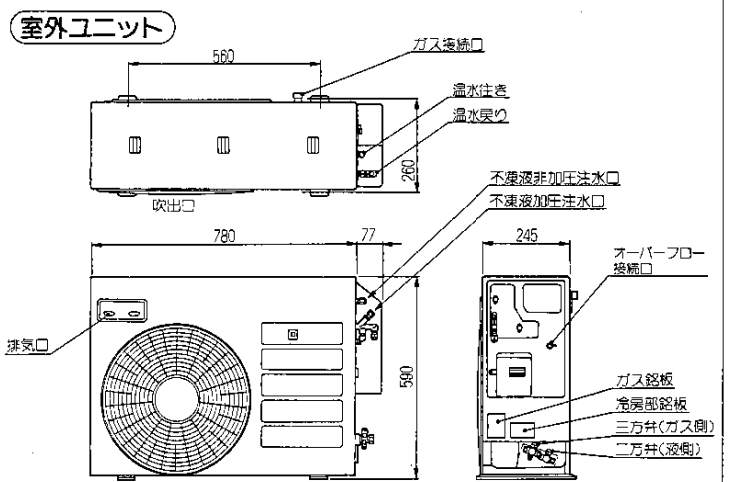
外形寸法図

単位：mm

室内ユニット



室外ユニット



■アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●41～45ページの「修理を依頼される前に」の項を見てもう一度ご確認ください。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。
なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1)品　名……温水式ガスルームエアコン
(2)品　番……右側面に貼付してあります。

(例)　室外ユニットの場合

(N)43－064(U)
大阪ガス株式会社 08

(3)現　象……(できるだけ詳しく)

転居される場合

●ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。電気の周波数にも50Hz、60Hzがあります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

●この器具には保証書がついています。
このガスルームエアコンは保証書の記載のように器具の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。